



Ruby/Tk-Kit から RubyKit へ

Ruby の単一ファイル実行環境の構築に向けて

永井 秀利

(nagai@ai.kyutech.ac.jp)



自己紹介

- ▶ 永井 秀利 (ながい ひでとし / Hidetoshi NAGAI)
- ▶ Ruby/Tk メンテナ
- ▶ ML 上での名乗りは永井@知能. 九工大
- ▶ 九州工業大学大学院 情報工学研究院
知能情報工学研究系 知能情報メディア部門 助教
(本業は非ソフトウェア系)
- ▶ 地域コミュニティ「Rubyist 九州」のメンバー

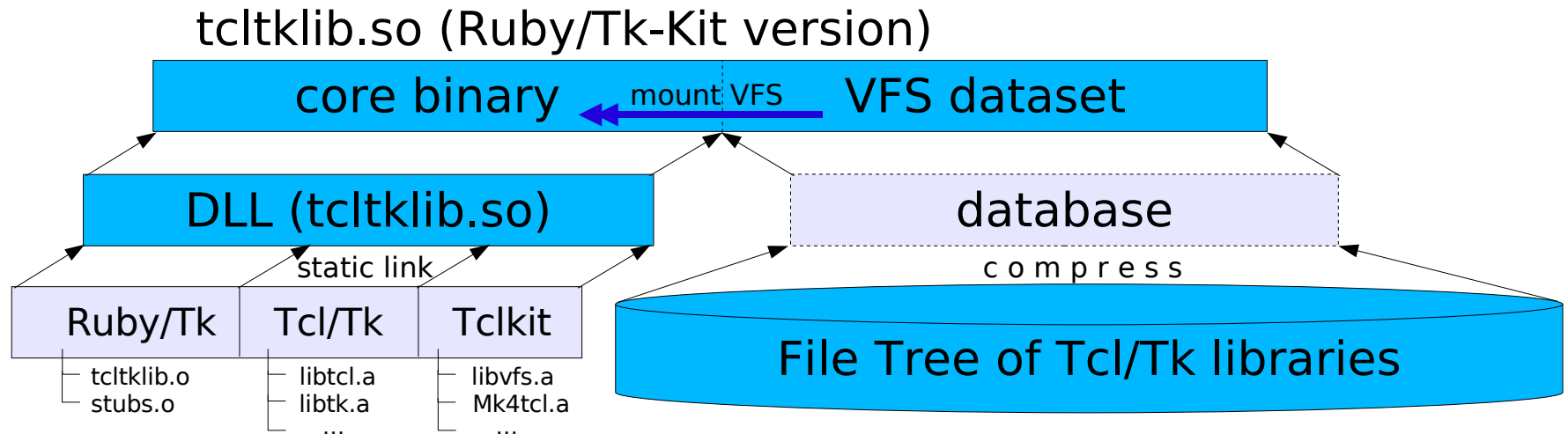
Ruby/Tk



- ▶ C 版 Ruby に標準添付の GUI ライブラリ
 - ▶ 簡単に GUI 作成が可能と言われる Tcl/Tk の wrapper
 - ▶ 稼働には Tcl/Tk のライブラリ導入も必要
 - ▶ ML 等で「Tk が動かない」と問われる元凶
 - ▶ Ruby 自体には必須でないので強制導入は難しい
- Ruby のバイナリ配布において特に問題

Ruby/Tk-Kit

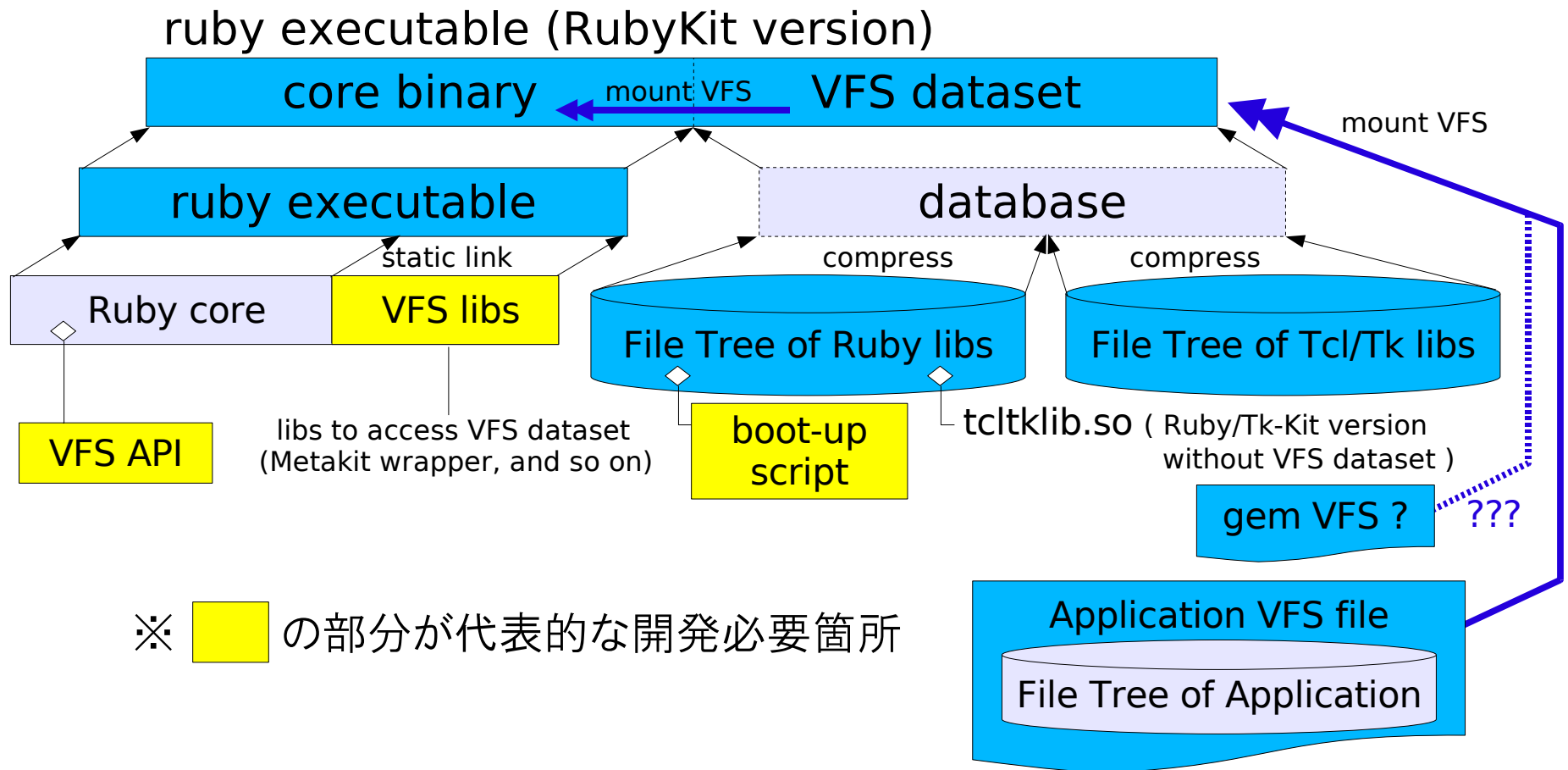
- ▶ Tclkit を参考に tcltklib.so (Ruby/Tk の core DLL) に Tcl/Tk 環境を結合し，単一ファイル化したもの



- ▶ Ruby (Ruby/Tk) のバイナリ配布時の問題を解消
 - ▶ Tcl/Tk を追加でインストールする必要なし
 - ▶ インストール済みの Tcl/Tk との干渉なし
- ▶ ファイルを展開して利用することも可能
 - ▶ 一種のインストーラ用ファイルとしても使える

Ruby/Tk-Kit から RubyKit へ

- ▶ Tclkit, Ruby/Tk-Kit の考え方を Ruby 本体へ導入
- ▶ Ruby 実行環境を単一ファイル化



RubyKit の体系

- ▶ RubyKit
 - ▶ 単一ファイルの Ruby 実行環境
 - ▶ copy でインストール, delete でアンインストール
 - ▶ 実行ファイル無指定時は irb 起動というのでもいいかも
 - ▶ ファイルツリーを展開して利用することも可能
 - ▶ インストール用ファイルとしても機能しうる
 - ▶ ライブラリを追加 / 削減しての RubyKit 再構築も可能
- ▶ AppKit (仮称)
 - ▶ アプリケーションの単一ファイル化
 - ▶ RubyKit を使って, 展開することなく実行可能
 - ▶ 展開しての利用も可能 (配布ファイルとしての活用)
- ▶ AppPack (仮称)
 - ▶ アプリケーションの単一実行ファイル化
 - ▶ RubyKit + AppKit のようなもの

他の実行ファイル化手法との比較

- ▶ <http://route477.net/d/?date=20090606> の比較表を参考

	exe 作成	Linux/Mac 用 バイナリ作成	テンポラリディレ クトリを使わない	必要なファイル のみ格納
Ocra	○	×	×	○
Exerb	○	×	○	○
Crate	×	○	○	○
RubyScript2Exe	○	○	×	×
RubyKit (計画)	○	○	○	○

※ DLL 読込のための一時保存を除く

- ▶ Ruby がサポートする環境に汎用なものとするのが目標
- ▶ 開発・テスト時の環境（VFS ファイルツリー）をそのまま pack して実行ファイル化できる
- ▶ 実行中の追加がないなら gem 利用も多分 (?) 問題なし

まとめ

- ▶ RubyKit の構想について述べました
- ▶ Ruby/Tk-Kit の実績に基づき，十分に実現可能と予想しています
Ruby/Tk-Kit については↓を参照
<http://www.dumbo.ai.kyutech.ac.jp/nagai/RubyTk/?Ruby%2FTk-Kit>

- ▶ 現在，

開発協力者募集中！！

です

- ▶ 興味がありましたら，懇親会その他でウロウロしているところを捕まえて，ぜひ声をかけてください



Ruby/Tk-Kit から RubyKit へ

～ Ruby の単一ファイル実行環境の構築に向けて ～

ご清聴ありがとうございました